



株式会社JR中央線コミュニティデザイン

サステナビリティレポート

2025

SUSTAINABILITY
REPORT LIBRARY
2025

INDEX

01	INDEX
02	TOP MESSAGE
03	企業ビジョン
04	はじめに
05	取り組み方針
06	2024 TOPICS (つながるひろがるACTION) ■ 東小金井駅60周年イベント ■ にしこくおみやげプロジェクト
08	SERVICE
09	SERVICE & NEWS 【ショッピングセンター】 ■ ショッピングセンター事業概要 ■ nonowa国立SOUTH ■ ショッピングセンターリニューアル 【駅運営】 ■ 駅運営と安全の取り組み ■ ものづくりのわ・もののわ ■ 手荷物預かりサービス 【教育】 ■ プログラボ ■ RAKUTO 【多様なくらしづくり】 ■ 中央線と暮らすアプリ ■ 中央線・南武線ホッププロジェクト ■ 地域活性化イベント ■ はちまるステーション ■ くらすクラス ■ マスターリース ■ 中央ラインハウス小金井 ■ STATION SWITCH 八王子
18	2025年度取り組み
19	地域の方インタビュー ■ 社会福祉法人 滝乃川学園【「ものの市」協業】
20	目指す働き方 ■ ワークスタイルと働き方データ ■ 若手インタビュー
24	環境目標 ■ CO ₂ 排出量の削減と資源の有効活用 ■ 食品リサイクル ■ 食料支援の取り組み ■ 地域産材の活用
26	会社案内
27	沿革
28	主な事業エリアと事業内容
29	主な運営駅・開発高架下
30	主なショッピングセンター
31	数字で見るJR中央線コミュニティデザイン



株式会社 JR中央線コミュニティデザイン
サステナビリティレポート 2025
2025年7月発行
〒184-0004
東京都小金井市本町1-18-10
小金井本町ビル 5F



<https://www.jrccd.co.jp/company/sustainability/>

TOP MESSAGE

Representative Director and President
Yutaka Ozawa

2021年の4月に株式会社JR中央線コミュニティデザインが発足して以来、
これまで「ここにしかないらしをつくる」という経営ビジョンのもと、様々な事業活動を展開してまいりました。

当社は、JR東日本の「沿線くらしづくり」構想を実現するグループ会社として、
駅に直結する商業施設の運営や駅業務、プログラミング教室や物販店の運営などを通して、
「住んでよかった」「訪れてよかった」と感じていただくために、
新たな価値を創造して街の魅力を高めていきたいと考えています。

- 「私たちの商業施設があるから街や生活に潤いがある」
- 「私たちが運営する駅を利用するたびに元気がもらえる」
- 「私たちが企画するイベントがあるから楽しい出会いがある」
- 「私たちが活動するエリアだから暮らしてみたい」

と言っていたけるように。

さらに、「株式会社JR中央線コミュニティデザインがまた何か新しいチャレンジをしてくれる」
というご期待を裏切らないようにしていきたいと考えています。

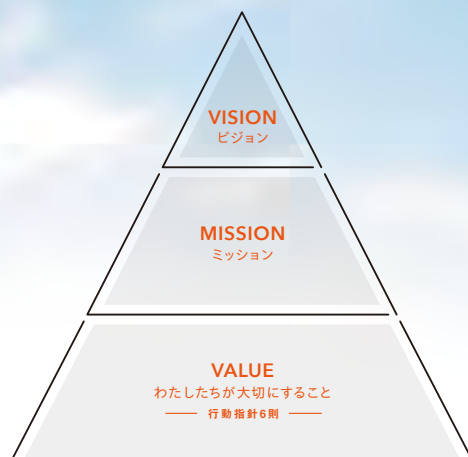
これからも10年先、20年先を見据えて、私たちが活動するエリアでは人々が集い、
笑顔があふれ、街全体がひとつのコミュニティのように心豊かな暮らしを育めるように努めてまいります。

代表取締役社長

小澤 裕

| 企業ビジョン |

JR中央線コミュニティデザインでは、
私たちが目指すべき姿や行動を
「ビジョン／ミッション／バリュー」として体系的に策定しています。
求められる価値を見出し、
事業や活動を通じてそれらの価値を提供することで、
沿線の魅力の最大化を目指しています。



VISION ビジョン

ここにしかない **暮らし**をつくる

MISSION ミッション

「駅」の定義を書き換えながら、 次の安心・快適・よろこびを創造し、 暮らしへの愛着をともに育む

VALUE バリュー わたしたちが大切にすること —— 行動指針6則 ——

1 誰よりも深く地域を考えよう

駅で働く自分たちも、その地域で暮らす生活者の一人。
その当事者意識を忘れずに、誰よりも深く地域のことを考え、
街の声を聴き、隠れたニーズや魅力を敏感にキャッチします。

2 やってみようを合言葉に

やれない理由より「どうすればやれるか」を考え、
失敗をおそれず、スピード感を持って挑戦します。
そして仲間のチャレンジを称賛し、応援し合える風土をつくります。

3 前例よりも異例を目指そう

常識や固定観念にとらわれない柔軟な視点と発想を持ち、
地域や会社にどのような価値がもたらせるかを考え、
前例にならうだけでなく新たな試みにも積極的に取り組みます。

4 自分の成長を仲間の成長へ

自ら知識や経験を広げ、「昨日よりも成長した自分」を目指し続けます。
同時に、仕事の知見やノウハウを仲間と共有し、
ときにサポートし合い、互いに高め合う努力を惜しみません。

5 役割を超えて連携しよう

一人ひとりが俯瞰的な視点を持つことで、
立場や役割を超越して協力し合い、
一つのチームとして連携しながら目標達成を目指します。

6 感謝の気持ちをエネルギーに

ともにはたらく仲間や、
あらゆるステークホルダーの皆さまへの感謝を忘れず、
その気持ちを原動力に「くらすよろこび」を創造します。

| 取り組み方針 |

持続可能な地域コミュニティを創造する

JR中央線コミュニティデザインは、
ESG (Environment / Society / Governance) の問題解決
および「安全・安心」の追求を、サステナビリティの4つの柱に位置付けています。
また、地域の魅力や可能性を広げるさまざまな事業活動を実施し、
住み続けられる街づくりをはじめとするSDGsの実現にも貢献していきます。



ESGの問題解決は、ガイドライン「SDGs(※)」に沿って、進めています。
※SDGsとは2015年9月の国連サミットで採択された
「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された
2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html>

SDGsの貢献に寄与する2つの事例をご紹介します。
●東小金井駅60周年イベント (P.6)
●にしこくおみやげプロジェクト (P.7)

01 東小金井駅60周年イベント

請願駅という歴史を活かし
地域と一体のイベントへ

2024年9月に開業60周年を迎えた、日本初の「請願駅※」である東小金井駅。それを記念し、駅では60周年イベント「ヒガコ60」が2024年9月14日・15日の2日間にわたり開催されました。東小金井駅では「地域の声に応えること」を何より大切にしています。そこには、駅と地域の理想的な関係性がありました。



※地域住民が費用を全額負担する狭義での請願駅

このイベントは、地域への恩返しでもある

東小金井駅は、住民の要望によって誕生した全国初の「請願駅」として1964年に開業しました。駅の誕生とともに周辺の商店街が栄え、まさに駅と地域が一体となって発展してきた歴史があります。60周年を迎えるにあたり、「地域住民の方々の願いによってできた駅だからこそ、地域へ恩返しをしたい」という社員たちの強い想いから、駅の愛称を冠した記念イベント「ヒガコ60」の企画が始動しました。周辺の商店街や地域活性化協議会とも協力しながら企画を進めたところ、地域からは「ミニ新幹線を走らせてほしい」「エキザイルに出演してほしい」といった多様なリクエストが。社員自身も積極的にアイデアを出し、少ない人数で通常業務をこなしつつ、協力合って企画を具体化していきました。



オリジナルデザインの法被も制作! イベントのキービジュアルとして、オリジナルビールのラベルやクリアファイルにも展開。

多様な人で賑わった当日。今後への気付きも……

イベント当日は、駅社員のダンスユニットであるエキザイルのダンスステージ、ミニ新幹線はやぶさ乗車会、法政大学鉄道研究会のジオラマ展示、60周年記念ビール販売など盛りだくさんの内容に。なかでも、地元のキッズダンサーやプロレスラーが出演したステージは大勢の観客で賑わいました。また、地域のショップを巡るスタンプラリーには、夫婦二人連れのお客さまの姿も。普段のイベントではお子さまを対象にしたものが多かった東小金井駅ですが、今後は多様な人が気軽に楽しめるイベントを増やしていこうと新たな気づきを得ました。イベントを通じ、地域との絆を改めて実感した駅社員たち。今後も東小金井駅では、地域のニーズを敏感にキャッチしながら、歴史の歩みを進めていきます。



熱中症対策が必要になるほど天気恵まれたイベント当日。いつものビシッとした姿とは異なり、駅社員の表情も柔らかかに。

COMMENT 担当者より

【東小金井駅】M.T.、S.E.(写真並び順)

今回の経験を自信に、地域の求めることに応えていきたい

「地域住民のおかげでできた駅だからこそ、地域から求められていることに常にアンテナを張っていたいです。“駅の定義を書き換える”という視点で考えたとき、駅業務の他にも自分ができることがきっとあるはず。それを考え続け、お客さまが心から喜んでくれる企画を打ち出していきたいです。」(M.T)

「入社2年目でイベントを担当し、とにかく“やるしかない!”という気持ちで取り組みました。社外の人との協業も経験でき、できることが広がって大きな自信になりました。また、地域との距離が近く、深いつながりがあるからこそ、駅が人々をつなぐ架橋のような存在になれたらいいなと思います。」(S.E)



02 にしこくおみやげプロジェクト

西国分寺らしいおみやげを
地域の方々と共に開発

中央線と武蔵野線が乗り入れる西国分寺駅は、乗り換え利用者が多い一方、待ち時間を過ごす場所や駅構内の有効活用が課題でした。何があればお客さまは喜んでくれるだろうか？ 解決策を探る中、浮上したのが「西国分寺にしかない“おみやげ”を開発する！」というアイデアでした。それから約2年、おみやげはどんな進化を遂げているのでしょうか。



地域プレーヤーとの協業で、こくベジスイーツが完成

おみやげ第1弾商品のコンセプトは、国分寺の特産野菜「こくベジ」を使った“ここでしか買えない”スイーツであること。食品開発は西国分寺駅にとって初挑戦でしたが、「こくベジ」を使った焼き菓子を製造する社会福祉法人AnnBeeさんと、東京経済大学の小木ゼミの皆さんが強力な助っ人となりました。西国分寺駅からは5名の社員がプロジェクトに参加し、商品企画はもちろんパッケージ開発やロゴ作成等も可能な限り自分たちで担当。2023年12月と2024年4月に開催した販売会ではドーナツとフィナンシェが、2024年12月の販売会ではガレットが登場し、想像以上の反響を呼びました。その後も「おみやげプロジェクト通信」やSNSでの発信を続け、プロジェクトの経過を随時公開していきました。



国分寺産のいちごやのらぼう菜などを使用した焼き菓子。「ここでしか買えない」ことから、帰省用のおみやげにも人気です。

改札での常設販売がスタート！さらに第2弾商品も

発信の甲斐あって、認知度も徐々に向上してきた同プロジェクト。次第に「常設販売をしたい！」という思いが強くなり、可能性を模索したところ、辿りついたのが改札を活用する新たな販売形態でした。他の駅では前例があるものの、西国分寺駅では社員自身が「改札で販売なんて考えたこともなかった」と言うほど新しい挑戦。さっそく改札付近の壁にプロジェクトのデザインを施し、お菓子のサンプルも展示するなど準備を進め、2025年1月から改札での常設販売がスタートしました。さらに6月には、地元のコーヒーロースターTakaiTOCoffeeさんと開発した「にしこくブレンド～出発～」も登場。おみやげの魅力で駅の雰囲気も少しずつ変わり始め、お客さまとの新しいコミュニケーションにもつながっています。



乗り換えの途中でも思わず目を引く大きな看板。黒板風のデザインや手書きのポスターから、親しみやすさがにじみ出ています。

COMMENT 担当者より

【nonowa西国分寺】S.M.、A.Y.、I.M（写真並び順）

やれば何でもできる、変えられる！

「地域の皆さまからありがたいお声をいただくことも増え、やりがいにつながっています。これからも愛される駅を目指します！」（S.M.）

「改札でのおみやげ販売が実現できたのは、改めてすごいことだなと思います。何でもできるという自信になりましたし、お客さまとのコミュニケーションも広がって、改札は

きつぷを精算する場所だという認識がガラッと変わりました。こうした取り組みを、他の駅や沿線にも波及させていきたいらうれしいです。」（A.Y.）

「駅が地域の皆さまとより密なつながりを築ける場になったと実感しました。今後、駅を誇りに思っていたる存在になれば嬉しいです。」（I.M.）



| SERVICE |

定義を書き換える、新たな事業を

交通や買い物のために来る人々を迎えるだけの駅から、

もっと地域の生活に溶け込み、共に暮らしと文化を創造する場所へ。

自由な発想で「駅」の定義を書き換えながら、幅広い分野で新たなサービスを展開しています。

【SERVICE】

1



ショッピングセンター

CELEO Dila nonowa

沿線において、ショッピングセンター「セレオ」「nonowa」「Dila拝島」を展開。地域で活動している皆さまとも協業し、地域性のある施設づくりを目指しています。

2



駅運営

ものづくりのわ

中央線・南武線の一部駅の運営をしているほか、駅独自のイベントも企画・実施しています。

3



教育

PregLab RAKUTO

子ども向けロボットプログラミング教室「プログラボ」などを運営。沿線地域の教育機関との連携にも力を入れています。

4

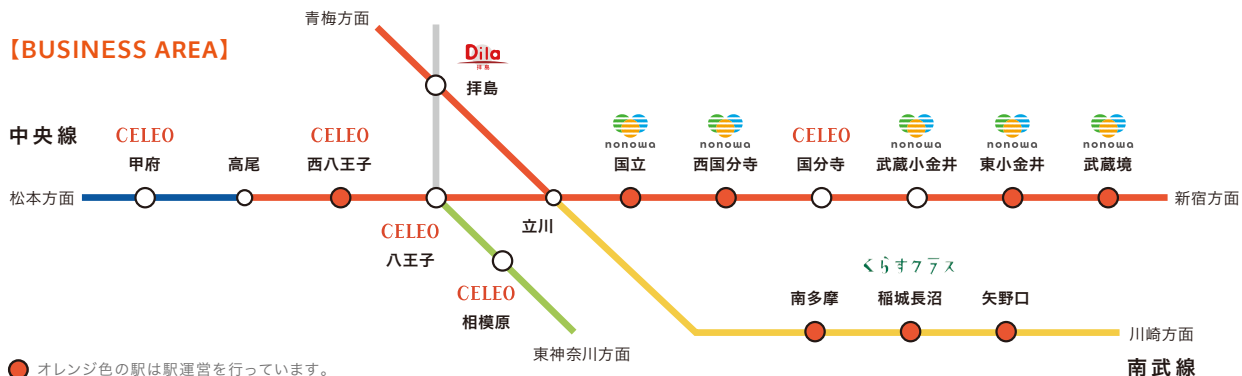


多様なくらしづくり

Chuo Line House KOGANEI
STATION SWITCH ハ王子 くらすクラス

地域に根差したイベントの開催や、ビジネス創出につながるさまざまな支援、新たな空間活用など、地域活性を目指した多様なくらしづくりを行っています。

【BUSINESS AREA】





| SERVICE & NEWS |

1

ショッピングセンター

ショッピングセンター事業概要

JR中央線コミュニティデザインの
ショッピングセンターの特色

中央線沿線の主要駅を中心に、ショッピングセンターの「セレオ」、「nonowa」、「Dila拝島」を11駅で展開しています。地域に根差した「ここにしかないくらしをつくる」ことを目指し、地元の商店やクリエイターと協業し、その地域ならではのショッピングセンターを運営しています。セレオ八王子やセレオ国分寺のように床面積が7万㎡を超え、ファッションから食料品まで多様なショップで構成する大型施設や、nonowa国立やnonowa武蔵小金井など中央線高架下の駅直結で、主に食料品や日用雑貨のショップで構成する生活密着型の施設、また、nonowa西国分寺やDila拝島のように駅改札内に展開する駅ナカ施設など、立地も形態もさまざまです。それぞれの場所で地域のお客さまのニーズに合わせてショップを構成し、日々の生活を豊かにし、地域のまちづくりに貢献します。

地域の声を聴き、魅力を掘り起こす

私たちは、地域の皆さまと「くらしづくり」・「まちづくり」を取り組んでいます。地域の皆さまと連携してイベントを行ったり、ショッピングセンターに掲出するポスターを地元のクリエイターにデザインしていただいたり、地域の皆さまと一緒に地域を楽しく盛り上げていきたいと思っています。セレオ国分寺では、国分寺市内の農家が生産した農畜産物「こくべじ」の魅力を広げるために立ち上がった「こくべじプロジェクト」に参加し、館内の飲食店で「こくべじ」を使用したメニューを提供するほか、販売会やイベントも積極的に開催しています。大切にしているのは、「誰よりも地域を考えること」。ショッピングセンターを運営する当社も、その地域で暮らす生活者の一人として、当事者意識を忘れずに、誰よりも深く地域のことを考え、街の声を聴き、隠れたニーズや地域ならではの魅力を掘り起こします。

便利に楽しく買い物ができる場所を目指して

当社の運営するショッピングセンターを、もっと楽しくご利用いただくために、「セレオ」、「nonowa」をご利用いただいているJRE POINT 会員さまを対象としたお買い物・ご飲食がもっとおトクになる会員制度「Plus member」を2025年4月からスタートしました。JRE POINTの優待サービスだけでなく、地域のレジャー施設や美術館、酒蔵など地域の特色のある施設と連携し、メンバーの皆さまが地域の施設のご優待が受けられる地域特典サービスも行っています。もっと便利に、もっとおトクにお買い物や食事をお楽しみいただけるようお客さまへのサービスの充実に努めています。

沿線において、ショッピングセンター「セレオ」「nonowa」「Dila拝島」を展開。地域で活動している皆さまとも協業し、地域性のある施設づくりを目指しています。



多様なライフスタイルに応える大型商業施設、セレオ八王子北館。地域の魅力を発信する場として進化を続けています。



「こくべじ販売会」では、地元の野菜にたくさんの人が興味津々！



新たな会員制度「CELEO×nonowa Plus member」を開始。名称の「Plus」には、「ポイントが増える」「くらしに喜びが増える」などの意味が込められています。



| SERVICE & NEWS |

1

ショッピングセンター

nonowa国立SOUTH

2024年3月に国立駅前に開業した「nonowa国立SOUTH」は、JR東日本グループ初の本造商業ビルです。「ソーシャルグッドリビング」をテーマとし、地域と地球に優しく、持続可能な施設を目指しています。

地域と環境に配慮した長く愛される建物へ

古くからの建物が多く残る国立市。そんな街の玄関となる国立駅にオープンした「nonowa国立SOUTH」。開発コンセプトは、街の風景と調和するサステナブルな建物です。JR東日本グループ初の本造商業施設として、木材を積極的に活用することでCO2を固定化し、森林資源の循環利用促進に寄与しています。内装もサステナビリティを意識し、多摩産材の杉、市内で伐採された桜の木、リサイクル材のレンガ調タイル、再生繊維のパネルなどを使用し、心地よい空間を演出。さらに館内の電力は風力発電によるもので実質再生可能エネルギー100%を実現しました。出店するショップもサステナビリティや地域への愛着を大切にし、ウェルビーイングな視点で心と身体を整え、お客さまの自分らしい健やかなくらしを支えることで、地域に愛されるショッピングセンターを目指します。



(上) 中高層木造建築の技術を導入。外観はガラス張りですが、木の柱が透けて見えることで落ち着いた雰囲気に。

(左) 多摩産材などが使われ、木のあたたかみを感じられる内装。電力には風力発電由来の自然エネルギーを活用しています。

ショッピングセンターリニューアル

セレオ八王子・西八王子がリニューアルを行い、生まれ変わりました。
地域の皆さまの暮らしに寄り添いながら、新たな魅力を発信中です。

八王子の暮らしを彩るリニューアルプロジェクト

「セレオ八王子」は、2012年に旧「八王子そごう」から専門店中心のショッピングセンターとして生まれ変わり、通算で40年以上地域に根差しているセレオブランドの旗艦店です。お客さまニーズや商業環境の変化に対応するため、2024年から3年をかけて全館リニューアルを実施中です。2024年度にはB1F・4F・6Fのリニューアルが完了し、2026年度には施設の顔である1F・2Fのリニューアルを予定。
「セレオ西八王子」は、2017年の開業以来、地元密着型の商業施設として「市場館」と「生活館」の2館体制で運営してきましたが、近年の競合や消費行動の変化を受け、日常的に利用しやすい“デイリーユース型”の施設へリニューアルを実施し、2025年1月・2月に新店舗が開業しました。これからも「ここしかないくらし」をつくり、愛され続けるショッピングセンターを目指します。



(上) リニューアルされた4F。時代やニーズの変化を捉え、長く愛されるショッピングセンターを目指しています。

(左) リニューアルを行ったセレオ西八王子。お客さまの日常に寄り添うショッピングセンターを目指しています。



駅運営と安全の取り組み

東京都を東西に横断する中央線をはじめ、南武線の駅において、駅業務の受託や施設の運営管理を担い、地域に快適で信頼いただけるサービスを提供することで「地域とつながる駅づくり」を目指しています。

地域と共に歩む駅運営

安全・安心の提供と魅力発信の取り組み

高いレベルの安全と安心を提供することを第一に掲げ、改札業務、案内業務、駅構内の巡回といった日々の駅運営業務を行っています。駅は単なる交通の結節点ではなく、人と人、人と地域をつなぐ場所ととらえ、駅の運営にとどまらず、地域の情報発信拠点やコミュニティの場としての駅の役割も重視しています。たとえば、駅改札でのお土産の販売や地域イベントとの連携・参加を通じて、地域の魅力を駅から発信する取り組みを積極的に実施。また、駅ならではのユニークな活動として、お子さま向けの駅業務体験会の開催や、駅社員が制服姿でダンスを披露するなど、地域の皆さまと直接ふれあう機会を大切にしています。さらに、改札口でマイクを使って周辺イベントの告知を行ったり、駅社員が駅を飛び出し地域イベントに参加したりと、これまでの「駅」の枠を超えた新しい挑戦も行います。地域とのつながりをより一層深め、モビリティと生活ソリューションの連携により生まれる新たな価値の創造を目指しています。

快適な駅を目指して、安全・安心を追求する

駅社員への継続的な安全教育・訓練の実施に加え、駅に併設されたショッピングセンターと連携した実践的な消防訓練を行うことで、災害や緊急事態に際しても、現場全体が一体となって迅速かつ的確に対応できる体制を整えています。また、駅をご利用になるお客さまの事故を未然に防ぐため、駅構内の定期的な安全点検や、声かけサポート運動の徹底、ホーム上での事故防止に向けた見守り体制の強化、案内放送の工夫などを通じて、お客さま視点に立った安全性の向上に取り組んでいます。さらに、万が一の事態にもお客さまの安全を最優先に行動できるよう、地震や火災など非常時を想定した避難誘導訓練やAED講習、声かけ訓練なども定期的に実施しています。JR中央線コミュニティデザインは、駅業務の効率的な運営を基本としながら、地域社会との連携を深め、お客さまに信頼される「安全・安心」なサービスの提供に努めています。駅を訪れるすべての人にとって、常に快適で安心でき、信頼される駅づくりを継続していきます。

中央線・南武線の一部駅の運営をしているほか、駅独自のイベントも企画・実施しています。



販売会の際には、駅社員が率先してアナウンスを行い集客。



各駅社員が集まって行う異常時訓練。



本社・ショッピングセンター社員向けの訓練。



| SERVICE & NEWS |

2

駅 運 営

ものづくりのわ・もののわ

地域で暮らす障がいのあるクリエイターを支援しようと、
2020年9月に国立駅で始まった「ものづくりのわ」。
ストーリーのあるさまざまな「もの」が
地域の魅力の再発見と新たな出会いをもたらしています。

駅・地域・クリエイターがつながり、 ストーリーを届ける

「ものづくりのわ」は2020年から国立駅で開始した企画で、障がいのあるクリエイターが製作した雑貨を扱うセレクトショップ「SOU」をはじめ、中央線沿線の福祉施設が参加し、販売会やワークショップを開催しています。2022年には近隣のショッピングセンターや、知的障害児者福祉施設・滝乃川学園でも「出張ものづくりのわ」を開催しました。地域の関心とクリエイターの熱意がマッチしたイベントとして定着しています。また、継続販売を望む声が多く寄せられたことから、駅社員が改札内で商品を販売する「もののわ」もスタート。駅構内のショーケースに商品を展示し、お客さまの要望を受けて改札で駅社員が販売しています。「もののわ」は「ものづくりのわ」関連商品だけでなく、国立市の都立第五商業高校の生徒が企画・開発したメイクブラシ「MIRY」などストーリーのある商品を扱うことを大切に、観光のきっかけや新たな出会いにつなげています。

ものづくりのわ



地域の高校生が企画・開発したメイクブラシ。販売には高校生も参加しました。

手荷物預かりサービス

国立駅では、近隣大学の入試に合わせて、
受験生を対象とした「手荷物預かりサービス」を実施。
多くのお客さまから感謝の言葉をいただきました。

声をきっかけに、受験生のお困りごとを解消

国立駅での手荷物預かりサービスは、お客さまの「荷物を預けるところがない」という声を聞いた駅社員が発案し、2022年から毎年実施している独自の取り組みです。2023年は入試前日に事前アナウンスや告知を行い、その効果もあって前年を上回る109件の利用がありました。親子で遠方から受験に来られたお客さまから「はじめて来た場所で何も分からないなか、荷物の心配が解消され、おかげで受験に専念できそうです」「煩わしいロッカー探しがなく改札内で預けられるのはナイスなアイデアですね!」との感想をいただくなど、好評でした。好意的なご意見を多数いただき、来年以降の継続実施に向けて手ごたえを感じられました。今後も社員の気づきアンテナを高くし、お客さまに喜んでいただける企画を実施していきます。



受験生に大好評だった手荷物預かりサービス。混雑が起こらないよう、当日は駅員による誘導も実施しました。



| SERVICE & NEWS |

3

教育

プログラボ

子ども向けロボットプログラミング教室「プログラボ」では、中央線等の沿線地域の子どもたちに「未来を生きるために必要な力」をつけてもらうことを目的とした教室運営を行っています。

プログラミングを通じ、未来を生きる力を育む

これからの時代に求められるプログラミング的思考・技術を地域の子どもたちに提供し、「自ら課題を見つけ、解決する」といった未来を生きるために必要な力を身につけてもらうことを目指し、2016年に関西で子ども向けロボットプログラミング教室「プログラボ」の運営が始まりました。2018年にフランチャイズ化されたのを機に、JR中央線コミュニティデザインの教育事業の取り組みとして「プログラボ」の運営を開始しました。

運営教室数は15校、生徒数は1,000名を突破！

2018年4月にJR中央線沿線に2校を開校し、以後中央線沿線を中心に京王線や西武池袋線の沿線を含む西東京エリアを中心に新校を開校。2025年4月時点で15校（校内教室を除く）を展開するまでに拡大し、1,000名を超える生徒が通っています。また、近隣の私立小学校や幼稚園の正課や放課後の習い事として授業を運営し、より多くのお子さまがロボットプログラミングに触れる機会を提供しています。今後も、沿線地域の子どもたちのSTEAM教育に貢献し、未来を担う子どもたちの成長を見守っていきます。

RAKUTO

近未来を生き抜く探究脳を育む、
探求学習塾「RAKUTOひばりヶ丘校」を運営。

「自ら課題を見つけ解決するチカラ」を
さらに幅広く育む

2024年2月からフランチャイズとして探求学習塾「RAKUTOひばりヶ丘校」の運営を開始しました。「近未来を生き抜く、探究脳を」をキャッチフレーズに、自発力、発見力、思考力、コミュニケーション能力、表現力など、子どもたち自身が未来を切り拓き、生き抜くことができる成長の土台となる探究脳を育てています。

ディスカッションやマインドマップをはじめ、脳科学と長年の経験に基づいた独自のメソッドで、勉強に取り組む子どもたちの目が輝き、一人ひとりの10年後、20年後が輝くことを目指した教室運営を行っています。

ロボットプログラミング教室「プログラボ」などを運営。沿線地域の教育機関との連携にも力を入れています。



2024年度時点で1,000名を超える生徒が通うプログラボ。



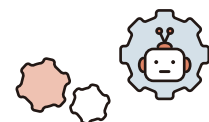
新たに開校した「RAKUTO」で、目を輝かせて学ぶ子どもたち。

当社の運営するプログラボ校舎

- | | |
|--------------|--------------|
| ・プログラボ中野 | ・プログラボ大泉学園 |
| ・プログラボ吉祥寺 | ・プログラボひばりヶ丘 |
| ・プログラボ武蔵境 | ・プログラボきよせ幼稚園 |
| ・プログラボ武蔵小金井 | ・プログラボ仙川 |
| ・プログラボセレイ国分寺 | ・プログラボ調布 |
| ・プログラボ国立 | ・プログラボ府中 |
| ・プログラボ立川 | ・プログラボ武蔵浦和 |
| ・プログラボセレイ八王子 | |

当社の運営するRAKUTO校舎

- ・RAKUTOひばりヶ丘校





| SERVICE & NEWS |

4

多様なくらしづくり

中央線と暮らすアプリ

スマートフォンアプリ「中央線と暮らす」は、地域の方々との継続的な接点づくりを目指して誕生しました。

コアな“中央線ファン”を増やす
自社プラットフォームとして

JR中央線コミュニティデザインではさまざまな方法で地域の方々との接点を拡張していますが、そうした接点を継続させる手段がないことが課題でした。そこで、こまめな情報発信やイベント連携によって地域とのつながりを作り、中央線のコアファンを増やすべく、2022年に開発したのが「中央線と暮らす」アプリです。社内外のイベント情報を提供するほか、イベントと連動したクーポンの配信やスタンプラリーの実施、駅社員が発案した独自企画の提供など、既存のリソースを活かしたコンテンツ展開を進めています。今後は駅やショッピングセンターを利用するお客さまとの相互接続を意識しながら、ユーザーごとにカスタマイズできる情報発信システムを試行するなど、中央線沿線のコミュニケーション手段としてさらなる発展を目指し、住み続けられる街づくりに貢献していきます。

中央線・南武線ホッププロジェクト

ホップ栽培から収穫・乾杯のサイクルを通じたコミュニティづくりを目指します。

通りすぎるだけの「駅」が
街の新しい価値を作り出すプラットフォーム

2021年3月、主に駅をご利用される地域の皆さまと駅社員のコミュニケーションツールとして、ビールの原料であるホップ栽培を武蔵境駅でスタートしました。ホップ栽培の輪は徐々に広がり、2025年5月現在は中央線・南武線沿線の15か所に広がっています。今では駅社員のみならず、ショッピングセンターで働く社員や地域ボランティアの方々も水やりなどの栽培のメンテナンスに携わり、その中で地域の方々とのコミュニケーションシーンも増えました。「何を育てているの」「成長したね」などの地域の方々との会話を通じて、ホップ栽培は「駅」を単なる交通の要所ではなく、人々の交流を創出する場所になっています。また、収穫したホップはオリジナルクラフトビール「ぼっぽやエール」の原料となり、駅前での販売やビールイベントへの出店を通じて地域の方々に提供します。ホップ栽培から収穫・乾杯までのサイクルを通して、ホップを中心とした地域の豊かな暮らしの輪を広げていきます。

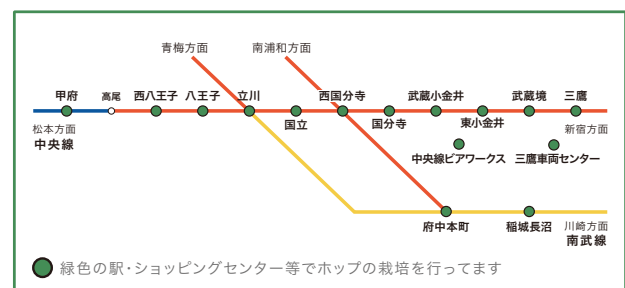
地域に根差したイベントの開催や、ビジネス創出につながるさまざまな支援、新たな空間活用など、地域活性を目指した多様なくらしづくりを行っています。



アプリ名やロゴも社員たちが考案しました。



イベントと連動し、謎解きスタンプラリーなどを実施。

中央線・南武線
ホッププロジェクト

(上) 2025年5月時点で、中央線・南武線沿線計15か所で栽培しています。

(左) 武蔵境で育てているホップ。社員や地域の方々が一体となって育てています。



| SERVICE & NEWS |

4

多様なくらしづくり

地域活性化イベント

JR中央線コミュニティデザインでは、マーケットやイベントの開催を通じて地域のクリエイターやショップの皆さまのコミュニティをつなぎ、この場所ならではのビジネスが生まれるきっかけづくりを推進中。その一例となる2つのイベントをご紹介します。

【中央線パンまつり】

2020年2月に始まった「中央線パンまつり」は、個性的なパン屋から行って見たかった名店まで、中央線沿線のベーカリーが集結するイベントです。これまでnonowaなどショッピングセンターで開催していた催事イベントでもパンのテーマが好評だったことから、「パンを中心にした沿線コミュニティを盛り上げたい」という想いで始まりました。イベントの企画運営には、「中央線ビールフェスティバル」も携わる株式会社スイベルアンドノットが参加し、出店者とのつながりを広げながら年々規模を拡大させています。2023年と2025年の第5回・第6回の開催では、「中央線パンまつりならではの商品もあると面白そう」というアイデアをもとに、駅社員が考案したパンを地元のベーカリーが商品化し、イベント限定のオリジナルパンを販売しました。地域の個人店と沿線住民をつなぎ、お店のファンを増やし、ショッピングセンターにも出店いただく、そんなサイクルを目指す「中央線パンまつり」。JR中央線コミュニティデザインならではの特徴と管理するアセットを活かし、中央線沿線の地域交流と文化創出に貢献しています。

【中央線からはじまるしゅ】

「中央線からはじまるしゅ」は、2023年4月に始まった、中央線沿線で活動する事業者や、これから活躍したいプレイヤーと沿線で暮らす人々が出会い、つながるマルシェ（“中央線からはじまる”“まるしゅ”）イベントです。地域の事業者と幅広くつながり、当社目線で沿線のお店やストーリーある商品のリアルな魅力を発信できないか、という想いから始まりました。これまで当社が開催してきた大規模イベントとは異なり、社員が街のお店や出店者と直接つながり、駅前や高架下だけでなく街なかでも展開。2024年には自治体や近隣企業の声を受け、当社施設外での開催も実現しました。出店をきっかけに当社直営店での商品取り扱いにつながった事業者や、店舗のファンを生む動きも生まれています。JR中央線コミュニティデザインは、地域と人をつなぎ、挑戦の芽が育ち、街の価値が更新されていく“これから”をつくるプラットフォームとして、今後も沿線の地域交流と新規事業・起業支援に貢献していきます。



駅社員が考案し、地元ベーカリーが焼き上げたオリジナルパン。



地元ベーカリーと地域の方々とのたくさんの交流が生まれています。



訪れたお客さまとの交流の様子。交流を通じて、街やお店の魅力を発信しています。



SERVICE & NEWS

4

多様なくらしづくり

はちまるステーション

地元密着型アンテナショップ「はちまるステーション」では、八王子・多摩エリアで活躍する生産者さまたちの想いやこだわりが詰まった商品・作品をお届けしています。

商品販売にとどまらない、地域の魅力発信拠点

「はちまるステーション」は、2021年12月にセレオ八王子北館2階にオープンした直営アンテナショップです。八王子・多摩エリアを中心に活動する約50の事業者の方と連携し、地元の野菜や地域で愛されるベーカリー、お土産にぴったりの和洋菓子やコーヒー、地域で活躍する作家の作品など、地域生産者のものづくりへの想いや魅力が感じられる商品を揃えています。店頭での商品販売や試食・試飲会にとどまらず、作家による陶芸体験教室や地域農家での収穫体験イベントなど、お店の外に飛び出す企画も実施。お客さまご自身が生産者の想いを直接感じられるような取り組みに力を入れています。2023年7月からは八王子市の「ふるさと納税」にも出品を開始。今後もアンテナショップという枠を超え、地域の魅力発信拠点としての役割を果たしていきます。



八王子駅北口につながる、セレオ八王子北館2Fの入り口すぐの店舗。パンやお菓子、新鮮な野菜が、通りがかる人の目を引きまします。

くらすクラス

稲城長沼駅近くの高架下にある「くらすクラス」。地域のコミュニティ拠点として、日々の交流からイベントの開催など、積極的な活動を展開しています。

演奏会にダンス、地域学習まで！

「くらすクラス」は、稲城長沼駅近くの高架下にJR東日本が立ち上げた多世代交流拠点です。2021年度からはJR中央線コミュニティデザインが運営を担い、駅ならではの役割や個性を活かした企画を展開。普段は専属スタッフを中心に音楽や読み聞かせ（「よりみち広場」）などを行い、駅社員も業務の合間に巡回しています。ホップや四季折々の草花の植栽・手入れもスタッフと駅社員で一緒に行い、自然豊かなガーデンを育てています。不定期で行うイベントでは、演奏会や読み聞かせや大人のための哲学教室など、スタッフや駅社員の好きなこと・得意なことを活かした企画で、にぎわいとコミュニティを創出しています。駅社員のダンスチーム「エキザイル」が踊りを披露することも！制服姿の駅社員は子どもたちにも人気です。駅と地域の距離を縮めながら、今後も高架下が「コミュニティ拠点」となるようにさまざまな活動を行っていきます。



くらすクラス



| SERVICE & NEWS |

4

多様なくらしづくり

マスターリース

2022年10月より、JR中央線コミュニティデザインはマスターリース事業に参入しました。

ショッピングセンター運営で培ったノウハウを不動産分野へ

中央線沿線における事業フィールドをマチナカへと拡張する取り組みの一環として、JR中央線コミュニティデザインはマスターリース事業に参入しています。不動産のオーナーから委託を受けショッピングセンターの運営管理を代行する「プロパティマネジメント」においては、収

益性の向上とオーナーへの還元が求められます。当社ではショッピングセンター運営で培ったノウハウを活かし、オーナーやテナントのニーズをきめ細やかに汲み取ることで、収益性向上を目指しています。

中央ラインハウス小金井

中央線の東小金井駅と武蔵小金井駅のほぼ中間、高架下およそ350mの区間にわたって位置する学生向けの賃貸住宅です。

新スタイルの学生寮

デザインコンセプトは、「プライベートに配慮しつつも、交流を育み新しいライフスタイルを提案すること。建物を大きく3タイプのエリアに分け、プライベートを重視する学生から、充実した共用部設備を活かした同居者同士の交流を楽しみたい学生まで快適に暮らせる工夫をしています。騒音・振動・防犯対策も万全で、地元野菜を使った管理栄養士監修の食事も付いた、心身ともに安心して暮らせる新発想の学生寮です。

Chuo Line House
KOGANEI

高架下の高さを活かした、最大3.5mの天井高が特徴。

STATION SWITCH 八王子

セレオ八王子北館9階にある駅直結のコワーキング施設。個人・法人を問わず、多様な方々にご利用いただいています。

仕事や勉強はもちろん、
情報発信の場にも

セレオ八王子の「STATION SWITCH 八王子」は、仕事に限らず勉強やサークル活動にも活用できるコワーキングスペースです。月額会員プランのほかに一時利用プランも用意し、法人から個人の社会人、学生まで幅広くご利用いただけることが特徴です。これまでに、講師を招いた各種セミナーの開催や創業支援サービスのご案内を行うほか、施設内の棚を活用した情報発信にも取り組んでいます。今後も「STATION SWITCH 八王子」では、さまざまな人の仕事や自己研鑽を支援していきます。

STATION
SWITCH | 八王子

ワークスペースはオープンエリアと私語禁止で集中できる会員専用エリアに分かれ、WEB会議やオンライン授業に使える個別ブースも完備。

中央線ビアワークス

2025年夏、東小金井駅～武蔵小金井駅間にJR東日本グループ初の直営クラフトビール醸造所がオープン。

駅社員がブルワーに！

中央線高架下に誕生する新たな賑わいの拠点

2025年夏、東小金井駅と武蔵小金井駅の駅間高架下に、直営のクラフトビール醸造所「中央線ビアワークス」が誕生しました。JR 東日本グループで初の直営クラフトビール醸造事業であり、小金井市内で初めてのクラフトビール醸造所です。駅勤務経験のある社員がブルワー（醸造家）となり、地域の魅力を発信する自社ビールの醸造に挑戦します。醸造したビールはイベントや地域の小売店、飲食店にて販売予定。中央線沿線に暮らす人々の誇りとなるような美味しいビールづくりを目指します。また、醸造所に併設するタップルームでは、自社醸造のクラフトビールのほか、ゲストビールとして多摩エリアを中心とした個性豊かなクラフトビールなどを取りそろえ、クラフトビールの魅力をご体感いただけます。地域の皆さまの交流の場としてビールを通じたつながりを生み出すことで、「中央線ビアワークス」を起点としたコミュニティの形成に取り組みます。

中央線ビアワークス
CHŪO LINE BEER WORKS



元駅社員が醸造を行う中央線ビアワークス。併設するタップルームでは様々なクラフトビールをお楽しみいただけます。

RAKU SPA 武蔵小金井（仮称）

武蔵小金井駅東側高架下に完成予定の温浴施設。
多様な世代の方々が楽しむことのできる場所を目指します。

未利用地が温浴施設に变身！

武蔵小金井に新たな憩いの場が誕生

2025年12月、武蔵小金井駅東側の高架下に温浴施設『（仮称）RAKU SPA 武蔵小金井』が開業予定です。近隣には温浴施設が少なく、地域の方々からも誘致を望む声が上がっていました。駅近傍でありながらも開発敷地としての課題が多く、長らく未利用地だった場所ですが、地域の方々や関係箇所との話し合いや協力を受けて、昨年7月に工事着手しました。株式会社極楽湯が運営事業者となり、施設内には入浴エリアのほか、サウナ、岩盤浴、コミックコーナー、リラクゼーションスペースなど様々なコンテンツを取り入れています。敷地内には公園も整備され、子どもの遊び場やイベント会場としても活用される予定です。駅隣接の立地のため、鉄道利用者もお気軽にお立ち寄りいただけます。多様な世代のお客さまが集う魅力ある温浴施設を提供し、新たな賑わいを創出することで、地域ならびに中央線沿線の活性化に貢献します。



温浴施設だけでなく、公園も併設し、老若男女問わず楽しむことのできる空間です。

※画像はイメージです。計画の進捗により変更となる場合があります

社会福祉法人 滝乃川学園

写真中央左【副総合施設長】杉崎 靖夫さん 写真左【児童部／「ものの市」責任者】林 克昌さん
(写真中央右／国立駅社員) (写真右／国立駅支配人)

多様な人が関わり合う日常を、 あたりまえの風景に。

日本初の知的障害児者福祉施設として、1891年に設立された滝乃川学園。
国立駅で始まった「ものづくりのわ」に初回から出店いただき、
現在は学園のイベントに国立駅が協力するなど継続的な協業が続いています。



駅でのイベント出店が、“遠い世界の人たち”を近づけた

「ものづくりのわ」は、中央線沿線の福祉施設等で製作された雑貨の販売等を行う国立駅の人気イベント。2020年、園内で製作した織物や陶芸製品の販路を模索していた滝乃川学園は、知り合いの紹介で初参加しました。「駅での販売は初めて。今まで出店したイベントとは客層が異なり、通りすがりに立ち寄る人が多く新鮮でした」と話すのは副総合施設長の杉崎さん。どこか“遠い存在”だと思っていたJRのグループ会社が、自分たちに声をかけてくれたことも意外だったそう。その後も「ものづくりのわ」に毎回出店し、参加者や来場者との関係が深まっていく中、仲間との雑談からぽっと生まれたのが「広く自然豊かな滝乃川学園でやっても面白いのでは？」というアイデアでした。

「もっと関わりたい!」そう思わせる不思議な魅力

アイデアは雑談にとどまらず、2022年、学園主催で「ものづくりのわ」の出張版「ものの市」が実現しました。国立駅は当初、広報サポートやブース出展で参加しましたが、関わりが不十分だと感じた国立駅社員が「私たちもっと協力できます!」と熱くオファー。その時のことを、学園の林さんは「そこまでの熱意を持ってくださって心強かった」と振り返ります。以降、新企画を提案したり、駅社員が楽器演奏を披露したりと、国立駅にとってもCCDのバリューを体現する大切な場となっていきました。「遊びにきた方や利用者の保護者の方も、自分たちも出演したい、何かできることはないかと自主的に申し出てくれます。CCDさんに限らず、多様な団体とつながりができました」(林さん)



駅と福祉施設に共通する、地域への思いとは

多い時で来場者は800名、今や地域の恒例行事としても定着しつつある「ものの市」。その開催意義を、学園のお二人はこう話します。「学園内だけで完結せず、近隣の方に来ていただき、障害のある方が当たり前で生活していることを知ってもらえるのも我々の役目。そのために地域を巻き込んで活動を広げたいですし、この考えは国立駅とも共通していると思います」(林さん)「『ものの市』が、障害のある方に関わるきっかけになってほしいですね。そこに喜びを感じられたら、温かい社会が広がっていくのではないのでしょうか」(杉崎さん)
駅と福祉施設。多様な人を受け入れ、関わりをつくるという点で深い共通点を持つ両者の協業を、CCDは今後も継続していきます。

| 目指す働き方 |

【ワークスタイルと働き方データ】

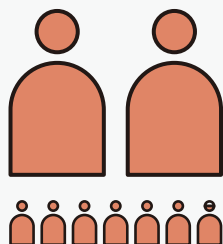
自由な働き方と、それを叶える環境づくり

JR中央線コミュニティデザインでは、社員一人ひとりの好奇心とフットワークを可能な限り支援し、自由な働き方を叶える取り組みを行っています。

社員がいつでも活用できるオンライン研修サービスや個別面談、オンライン相談サービスなどの制度も整え、働きがいを実感できる企業を目指していきます。

2025年04月01日時点
社員数

269人



2025年04月01日時点
構成比率

男性 62.3% 女性 37.6%



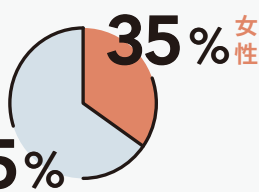
2025年04月01日時点
平均年齢

41.5歳



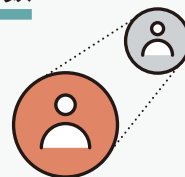
2025年04月01日時点
管理職比率

男性 65%



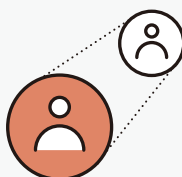
過去3年(2022～2024年度)
経験者採用数

34人



2023～2025年度
新卒人数

25人



2024年度
離職率

5.3%



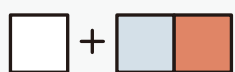
2024年度
月平均残業時間

15.5時間



2024年度
平均有給休暇取得数

14日



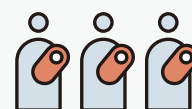
2024年度
短時間労働人数

5人



過去3年(2022～2024年度)
育休取得人数(男性)

3人 (全体9人のうち3人男性)



| 目指す働き方 |

【若手インタビュー】

1

華やかな場所を 守り続けるために

大学時代に建築を学び、現在「セレオ八王子」のハード面を管理。
貪欲に新しい知識を吸収しながら、
八王子駅の“顔”となるショッピングセンターを守り続けています。



建物を「守る」仕事に惹かれて

祖父が大工だった影響で建築に興味を持ち、大学は建築学科へ。建物を「つくる」だけでなく「守る」仕事にも面白さを感じ、この会社を志望しました。最初の2年間は売上管理などの事務系業務に携わり、3年目から建物のハード面を担当する部署に異動。セレオ八王子のリニューアルプロジェクトなどを経験し、現在は高架下に建設中の新施設プロジェクトにも参加して日々多くのことを学んでいます。ショッピングセンターの仕事はキラキラしたイメージがありましたが、実際は工事の遅れが許されず想像以上にハード! でも、改装が無事終わってお客さまがフロアにわーっと入ってきてくださるのを見た時には、大きな達成感が得られます。



「好き」を原動力に知識を深め、セレオを街の“顔”に

最近、建築関係の資格取得に向けて自主的に勉強に励んでいます。専門知識が増えれば自分の考えやアイデアをもっと伝えやすくなるかなと思ったからです。昔から一つのことにぐっと集中するタイプ。今はその対象が仕事に向かっているのかもしれないですね。買い物で他のショッピングセンターに行っても、つい建物のデザインや販促展示をじっくり見て、「こうやってデザインを統一しているんだな、この販促展示いいな」と参考にできそうな点を探してしまいます。これからも、自分の中の知識やアイデアをどんどん増やし、地域に愛される商業施設としてセレオを守り続けていきたいです。そしていつか、セレオが八王子という街の顔になれば素敵だなと思います。



| 目指す働き方 |

【若手インタビュー】2

駅員から先生へ 新たな挑戦

入社4年目で、活躍の場が駅から教室へと一変。
生徒や保護者の方々との深い関わりの中で、
日常に寄り添う仕事の尊さを実感しています。

2021年入社
新領域創造本部
教育事業部

S.D



大好きな駅業務を離れ、興味のあった教育分野へ

私はCCDが教育事業として手掛けるロボットプログラミング教室「プログラボ」で、2年前から室長を務めています。入社して3年間は東小金井駅で駅業務に従事し、その仕事も大好きでしたが、4年目で新しいことに挑戦しようと希望を出し教育事業部に異動。学生時代に教職を検討したことがあり、家庭教師のアルバイトもしていたので、人に何かを教える仕事に興味がありました。仕事はマネジメントから実際に教えることまで多岐にわたり、教室での呼び名は「先生」。内向的な生徒が徐々に心を開き、初めて「先生」と呼んでくれたときはすごく嬉しいですね。保護者の方が授業を見学することもあり、満足いただける授業をしなければと気持ちが引き締まります。



何十年先にもつながる価値を提供するために

実は駅で働いていたときは、「お客さまからお金をいただいてサービスを提供している」という意識が少し希薄でした。今はお客さまとの距離が近いせいか、いただくお金や期待に見合うよう授業の質を高めてはと強く意識しています。そして働く自分たちがいかに仕事を楽しめるかも、きっとサービスの質に表れるはず。社員にとっての充実した環境づくりにも、今後取り組んでいきたいです。

「プログラボ」はプログラミングを学ぶ教室ですが、目指しているのは総合的な“人間力”を育むこと。夢中になって挑戦したり、諦めずに頑張ったりしたときはしっかりと褒め、何十年後に生徒の継続力や協調性につながっていけばと願っています。



| 目指す働き方 |

【若手インタビュー】

3

地域に開けた駅を目指して

仕事の幅広さや、地域に寄り添う姿勢に惹かれてCCDに入社。
これまで以上に開けた駅を目指し、日々積極的に行動しています。

国立駅は、当社バリューの一つである「やってみようを合言葉に」が浸透しています。風通しも非常によく、若手のアイデアも否定せず積極的に取り入れてもらえます。仕事で一番充実感を覚えるのは、お客さまから直接お言葉をいただくとき。2年連続で開催した足湯イベントでは、参加した親子のお客さまから「今年もやってくれてありがとう」と声をかけていただき、期待されているんだと実感しました。駅は安心・安全や正確性が求められる場所なので、とすれば少し事務的で、堅い印象を与えてしまうことも。でも私はそうした冷たいイメージを変え、もっと地域の方々に寄り添った、気軽に開けた場所にしていきたいと思っています。



【若手インタビュー】

4

熱意の連鎖で地域を盛り上げたい

自分自身が率先してバリューを実践し、仲間を増やしたい。
すべては「がんばる人が活躍できる場」を生み出すために。

私が所属する地域活性化部では、「中央線ビールフェスティバル」「中央線パンまつり」などのイベント企画や「中央線と暮らす」アプリの運営などを通じ、街を盛り上げるとともに当社の存在価値を高めていくことを目標にしています。仕事において大切にしているのは、当社バリューにある「誰よりも深く地域を考えよう」「感謝の気持ちをエネルギーに」などの言葉。このバリューの策定プロジェクトには私も参加したので、なおさら思い入れがあります。まずは自分が率先してバリューを実践し、その姿を見て真似したい・応えたいと思ってくれる仲間を増やしたい。そしてがんばる人が活躍できる場を、地域にもっと生み出していきたいです。

2019年入社
地域活性化部

M.M

【若手インタビュー】 5

暮らしを反映する商業施設とは

学生時代から身近な存在だったショッピングセンター。
利用する立場から“つくる立場”になった今、目指しているのは――

CCDでは「セレオ」「Dila拝島」「nonowa」の3つのショッピングセンターを展開していますが、どれも同じ商業施設にするのではなく、地域ごとの暮らしを映し出す施設にすることを目指しています。一言でお客さまといっても多様な方々がいらっしゃいますし、ライフスタイルは常に変わり続けます。そうした中で大切なのは、地域のお客さまの声を直接お聞きし、変えるべきこと／守り続けることを的確に見極めていくこと。最近では自分が担当するセレオ八王子のお客さまにインタビューを行い、ニーズへの新たな気づきを得ました。今後もこうした活動を続け、地に足の着いた新しいショッピングセンターづくりを進めていきたいです。



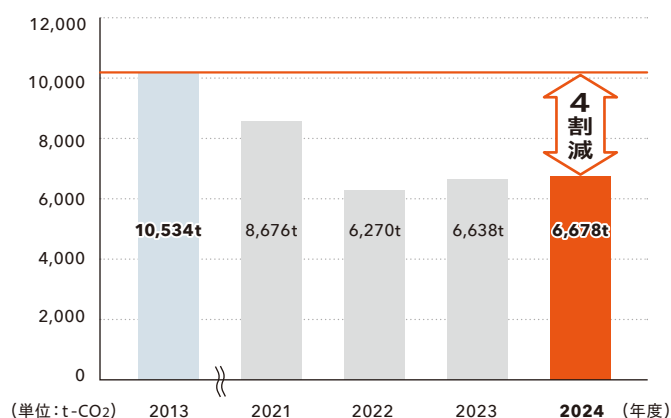
| 環境目標 |

JR中央線コミュニティデザインの環境目標

JR中央線コミュニティデザインでは、
JR東日本グループの環境長期目標「ゼロカーボン・チャレンジ2050」の
実現に向け、さまざまな取り組みを行っています。

【CO₂排出量の削減と資源の有効活用】CO₂排出量およびリサイクル率の推移

CO₂排出量を基準年となる2013年度比で2030年までに50%削減、2050年までに実質ゼロを目標としています。コロナの収束による営業活動の活発化に伴い、使用エネルギーが増加傾向となりましたが、CO₂を排出しない再生可能エネルギーの導入や老朽化設備の更新により電力およびガス使用量の削減を図りました。これにより、2013年度比でCO₂排出量を約4割削減しました。また、廃棄物については、排出量の削減とともにリサイクル率の向上に努め資源の有効利用に取り組んでいます。食品廃棄物等の生ゴミについては、バイオ処理による発電や家畜用の配合飼料原料とすることで、食品リサイクルを行っています。その他、契約書の電子化をはじめペーパーレス化の促進に継続して取り組んでいます。

【下】CO₂排出量推移

【下】資源利用とリサイクル率

年度	資源利用		一般廃棄物			産業廃棄物		
	エネルギー (原油換算)(kl)	紙資源(kg)	総排出量 (t)	リサイクル 処理(t)	リサイクル率 (%)	総排出量 (t)	リサイクル 処理(t)	リサイクル率 (%)
2021	5,032	5,875	3,459	2,344	68	833	723	87
2022	4,828	4,346	3,507	2,399	68	826	743	90
2023	4,646	4,941	3,378	2,536	75	781	695	89
2024	4,720	4,692	3,454	2,395	69	773	663	86

※2025年5月時点

再生可能エネルギー

環境負荷のない再生可能エネルギーの導入にも積極的に取り組んでいます。2023年9月に住友商事株式会社、株式会社サミットエナジー、東日本旅客鉄道株式会社と国内初^{※1}となる風力発電所由来の電力の売買取引を行うオフサイト型コーポレートPPAの取り組みを開始し、ショッピングセンターnonowa^{※2}の使用電力を再生可能エネルギーに切替えました。これにより、当該施設では使用電力におけるCO₂排出量はゼロとなり、当社全施設のCO₂排出量の2割削減を実現しました。



【左】風車のモチーフが象徴的な再生可能エネルギー導入ポスター。今後もさまざまな環境への取り組みを紹介していきます。

※1 固定価格買取制度からフィード・イン・プレミアムに移行した風力発電所由来の電力による、オフサイト型コーポレートPPAは国内で初の取り組みとなります。

※2 nonowa武蔵境(EAST・WEST一部除外店舗有)、ののみちサカイ(武蔵境東西駅間高架下店舗 一部除外店舗有)、nonowa東小金井(一部除外店舗有)、nonowa武蔵小金井(WEST・SOUTH・ムサコガーデン)、nonowa国立SOUTH

【食品リサイクル】

食品廃棄物を焼却処分しないことで CO₂排出量を削減

セレオ国分寺、セレオ八王子、セレオ西八王子、nonowa西国分寺、nonowa国立では、賞味期限切れなどで廃棄することとなった食品について、2020年6月から株式会社Jバイオフーズリサイクルでバイオ処理を行っています。食品廃棄物を焼却処理する際に排出されるCO₂を削減するとともに、微生物の働き(メタン発酵※)により食品廃棄物から発生するバイオガスを再生可能エネルギーとして電力を供給しています。また、発酵残渣についても肥料化することで、食品リサイクルを推進しています。

※酸素の無い環境で微生物が有機物を分解しメタンを作り出すこと。



【左】食品のバイオ処理と再生可能エネルギーの発電を行う、食品リサイクル発電プラント。

【下】食品リサイクル実績

年度	廃棄量 (t)	CO ₂ 排出量 推定削減効果 (t)	バイオガス発電量 (kWh)	飼料 (kg)
2021	667.83	109,298	247,841	-
2022	698.60	144,359	307,595	12,111
2023	665.44	138,888	308,812	58,985
2024	606.11	130,384	293,341	34,298

【食料支援の取り組み】

身近な地域課題を解決する 駅でのフードドライブ

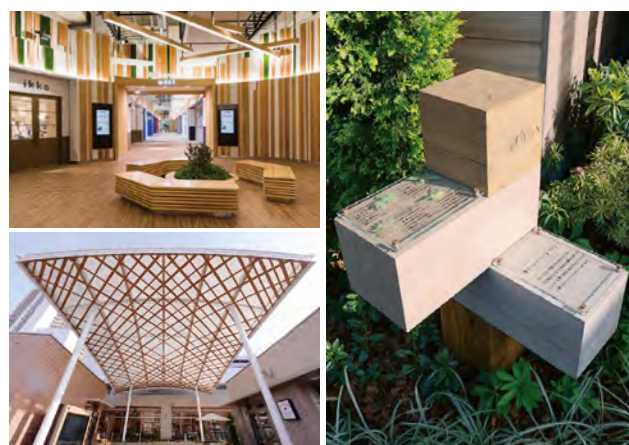
ご家庭で使いきれない食品ロスの削減と必要とされる方への食料支援を目的に、2022年10月から駅でのフードドライブに取り組んでいます。2024年度は9月に開業60周年を迎えた東小金井駅で行った他、11月からは西国分寺駅でフードドライブを定期的を実施しています。地域の窓口である駅の利便性を活かし、食品の受け取りは、駅の改札口で毎週木曜日の始発から終電まで行なっています。また、ご提供いただいた食品は社会福祉協議会を通じて、必要なご家庭や施設・団体等に届けており、身近な地域課題の解決に地域一体となって取り組んでいます。



【地域産材の活用】

多摩産材を活用し、 環境配慮型のショッピングセンターへ

セレオ八王子、nonowa東小金井、ムサコガーデン、nonowa国立SOUTHでは、多摩地域の森林から生産された多摩産材認証協議会が産地を証明した「東京の木 多摩産材」が使われています。木材を利用することで、木の温もりを感じる空間を創出するとともに、CO₂を蓄えて大気中に排出しない「炭素の固定」を行っています。地域の木材を使うことで、その地域の森林における伐採、利用、植栽、保育といった循環を促進し、東京の森を再生して将来の世代に引き継ぐことに貢献しています。



会社案内

会社概要

会社名	株式会社JR中央線コミュニティデザイン
主な事業	ショッピングセンター／駅運営／教育／多様なくらしづくり
所在地	【本社】〒184-0004 東京都小金井市本町1-18-10 小金井本町ビル5F 【八王子オフィス】〒192-0083 東京都八王子市旭町1-1 セレオ八王子北館7F
設立	2021年4月1日
資本金	12億3,000万円
代表者	代表取締役社長 小澤 裕

アクセス

■ 本社



【交通のご案内】

JR中央線「武蔵小金井駅」下車

【所在地】

〒184-0004 東京都小金井市本町1-18-10
小金井本町ビル 5F

■ 八王子オフィス



【交通のご案内】

JR中央線「八王子駅」下車

【所在地】

〒192-0083 東京都八王子市旭町1-1
セレオ八王子北館 7F

| 沿 革 |

沿線のくらしづくりを目指して誕生

JR中央線コミュニティデザインは、

株式会社JR中央ラインモールとJR東京西駅ビル開発株式会社の合併により、2021年4月に誕生しました。

2007年	07月	JR東京西駅ビル開発㈱ 設立
2009年	09月	JR武蔵小金井南口ビル(現在のnonowa武蔵小金井SOUTH) 開業
2010年	11月	セレオ八王子南館 開業
	12月	㈱JR中央ラインモール 設立
2011年	10月	西八王子ロンロン 運営開始
2012年	09月	nonowa西国分寺 開業
	10月	セレオ八王子北館 開業
2013年	04月	武蔵境駅 運営開始 / 相模原駅ビルナウ 名称を「セレオ相模原」に変更
	05月	nonowa武蔵境WEST 開業
	10月	国分寺エル 名称を「セレオ国分寺」に変更
2014年	01月	nonowa東小金井EAST・WEST 開業
	04月	nonowa武蔵境駅間 順次開業
	05月	国立駅 運営開始
	10月	ののみちヒガコ東・ののみちヒガコ西 順次開業
2015年	02月	nonowa武蔵小金井EAST 開業
	03月	甲府エクラン 名称を「セレオ甲府」に変更
	04月	東小金井駅 運営開始 / nonowa国立EAST 開業
	12月	nonowa武蔵小金井WEST 開業
2016年	04月	nonowa国立WEST 開業 / nonowa国立駅間 順次開業
	06月	nonowa武蔵境EAST 開業
	12月	セレオ武蔵小金井 名称を「nonowa武蔵小金井SOUTH」に変更
2017年	12月	西八王子ロンロン 名称を「セレオ西八王子」に変更
2018年	04月	ディラ拝島 運営開始
		ロボットプログラミング教育事業を開始 / プログラボ武蔵小金井校・プログラボ中野 ICTCO(イクトコ)校 開校
		nonowa武蔵小金井ムサコガーデン 開業
	10月	プログラボ国立校 開校
2019年	04月	プログラボ武蔵境校・プログラボ TAC中野校(中野ICTCO校から移転・名称変更) 開校
	10月	プログラボ豊田校 開校
2020年	03月	中央ラインハウス小金井 竣工
	04月	宝仙学園小学校 プログラボ放課後課外教室 開校
2021年04月 ㈱JR中央線コミュニティデザイン発足(㈱JR中央ラインモールとJR東京西駅ビル開発㈱が合併)		
	04月	稲城長沼駅・矢野口駅・南多摩駅 運営開始 / プログラボ吉祥寺校・プログラボ調布校 開校
		STATION SWITCH セレオ八王子 オープン
2021年	10月	プログラボ大泉学園校 開校
	11月	プログラボセレオ国分寺校 開校
	12月	西国分寺駅 運営開始
		はちまるステーション オープン
2022年	04月	西八王子駅 運営開始
		プログラボひばりヶ丘校・プログラボセレオ八王子校・プログラボきよせ幼稚園校 開校
	10月	マスターリース・プロパティマネジメント事業開始
2023年	03月	ひとはこカフェ オープン
	04月	プログラボ仙川校・プログラボ府中校 開校
	05月	SHARE DEPARTMENT 開業
	10月	nonowaでの風力発電所由来の電力によるオフサイト型コーポレートPPA 開始
2024年	02月	RAKUTOひばりヶ丘 運用開始
	03月	nonowa国立SOUTH 開業
	04月	プログラボ立川校 開校
	05月	プログラボ武蔵浦和校 開校
	10月	nonowa国立SOUTH グッドデザイン賞受賞
2025年	01月	セレオ西八王子 リニューアルオープン
	04月	「CELEO×nonowa Plus Member」開始

主な事業エリアと事業内容

定義を書き換える、新たな事業を

交通や買い物のために来る人々を迎えるだけの駅から、

もっと地域の生活に溶け込み、共に暮らしと文化を創造する場所へ。

自由な発想で「駅」の定義を書き換えながら、幅広い分野で新たなサービスを展開しています。

【BUSINESS AREA】



CELEO

Dila
拝島

nonowa



ショッピングセンター

沿線において、ショッピングセンター「セレオ」「nonowa」「Dila拝島」を展開。地域で活動している皆さまとも協業し、地域性のある施設づくりを目指しています。

ものづくりのわ



駅運営

中央線・南武線の一部駅の運営をしているほか、駅独自のイベントも企画・実施しています。

ProgLab

RAKUTO
JR中央線コミュニティデザイン



教育

子ども向けロボットプログラミング教室「プログラボ」などを運営。沿線地域の教育機関との連携にも力を入れています。

はちまるステーション
Chuo Line House
KOGANEI
STATION SWITCH | 八王子
くらオクテス



多様なくらしづくり

地域に根差したイベントの開催や、ビジネス創出につながるさまざまな支援、新たな空間活用など、地域活性を目指した多様なくらしづくりを行っています。

｜ 主な運営駅・開発高架下 ｜



武蔵境駅



東小金井駅



西国分寺駅



国立駅



西八王子駅



南多摩駅



稲城長沼駅



矢野口駅



ののみちサカイ



ののみちヒガコ

主要ショッピングセンター



CELEO

セレオ八王子 北館

延床面積：73,855㎡



CELEO

セレオ八王子 南館

延床面積：17,053㎡



CELEO

セレオ国分寺

延床面積：71,489㎡



CELEO

セレオ西八王子

延床面積：2,086㎡



CELEO

セレオ甲府

延床面積：13,743㎡



CELEO

セレオ相模原

延床面積：7,930㎡



Dila
拜島

ディラ拜島

延床面積：871㎡



nonowa

nonowa 武蔵境

延床面積：2,987㎡



nonowa

nonowa 東小金井

延床面積：4,483㎡



nonowa

nonowa 西国分寺

延床面積：1,057㎡



nonowa

nonowa 武蔵小金井

延床面積：9,922㎡



nonowa

nonowa 国立

延床面積：7,435㎡

※延床面積は2025年4月時点

| 数字で見るJR中央線コミュニティデザイン |

コミュニティの環を拡大中

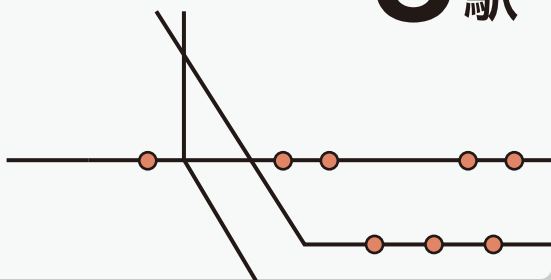
JR中央線沿線を中心に、

関連施設やステークホルダーの数を着々と増やしています。

イベント開催数は50を超え、沿線外からも多くのお客さまにお越しいただいています。

運営駅数

8 駅



2024年度

ショッピングセンター純売上高

85,946 百万円

教育事業
総教室数

プログラボ生徒数

1,154 名

RAKUTO生徒数

29 名

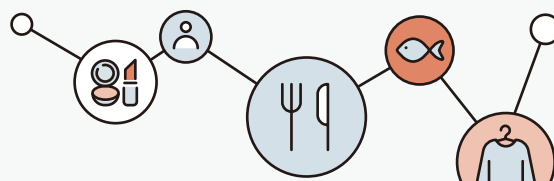
16 校



テナント総数

500 店

TENANT

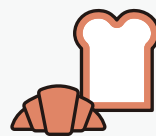
地域イベント
開催数

約 50 回

中央線コーヒー
フェスティバル
動員数

4月：約 6,700 人

10月：約 5,300 人

中央線
パンまつり
動員数

約 18,000 人

中央線ビール
フェスティバル
動員数

約 34,000 人

※数値は、2025年3月時点のものととなります。